

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

二輪車の交通事故発生状況 令和8年1月末

1 二輪車事故の発生状況

令和8年1月末現在の二輪車が関係した人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数ともに増加しています。

また、死亡事故の発生はありません（前年比±0件±0人）。

【二輪車事故の発生状況】 （令和8年1月末速報値）

区 分	発生件数	死 亡 事 故		負 傷 者 数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	23	0	0	5	19	24
前 年	12	0	0	1	12	13
増 減 数	11	0	0	4	7	11
増 減 率	91.7	-	-	400.0	58.3	84.6

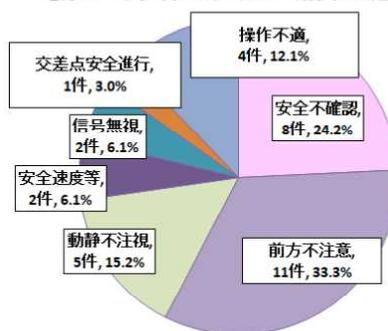
※本表の死傷者数には二輪車乗車中以外の死傷者を含む。

○ 二輪車が第1当事者となった事故 （令和7年中）

令和7年中の二輪車事故は206件で、うち、二輪車が第1当事者となった事故は33件（16.0%）で、一般原付14件、二種原付5件、軽二輪6件、自動二輪（751以上）4件、自動二輪（401～750）1件、そして自動二輪（251～400）が3件でした。

また、第1当事者の違反別では、前方不注意が11件で最も多く、次いで、安全不確認が8件でした。

【第1当事者となった二輪車の違反】



【二輪車の交通死亡事故発生状況】 （令和7年中）

No.	発生年月日等								事故類型			死者	
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	類型A	状態	年代
1	7	6	14	9	土	昼	曇	気仙沼市唐桑町	国道	三叉路	出会い頭	自二	30歳代
2	7	6	21	10	土	昼	晴	名取市高館吉田	県道	四差路	右折直進	自二	40歳代
3	7	10	29	16	水	昼	晴	多賀城市高橋	市道	直線	右折直進	自二	70歳代

2 二輪車事故の発生推移 （基礎データH28年～R7年）

二輪車事故の発生件数は減少傾向が続いており、令和7年は、記録の残る昭和41年以降で最少となる206件でした。

また、死者数についても、令和6年に12人と一旦増加しましたが、令和7年には記録の残る昭和41年以降で最少となる3人でした。



区 分	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
発生件数	516	518	465	349	263	281	270	249	264	206
死者数	11	6	7	9	5	8	8	6	12	3

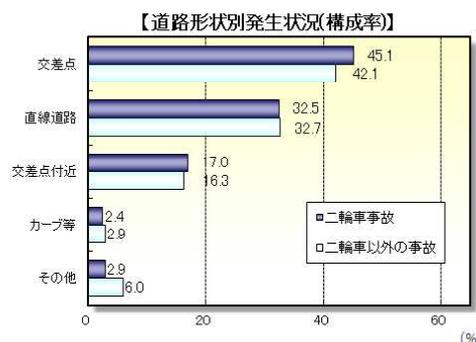
※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

3 二輪車事故の発生特徴等 (令和7年中)

(1) 交差点での発生が多い

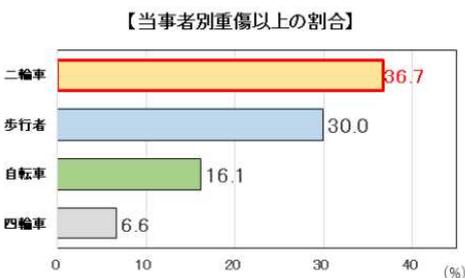
二輪車事故の4割以上(206件中93件、45.1%)が交差点で発生し、構成率が二輪車以外の事故(3,524件中1,484件、42.1%)を3.0ポイント上回りました。

道路形状別では、交差点と交差点付近の構成率が、二輪車以外の事故の構成率を上回りました。



(2) 死傷程度が重傷以上になる割合が高い

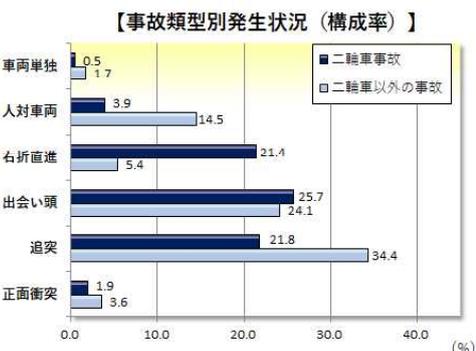
二輪車乗車中の死傷者が重傷以上となる割合は約4割(188人中69人、36.7%)で、四輪車乗車中(3,288人中218人、6.6%)の約5倍となっており、自転車等乗車中(539人中87人、16.1%)、歩行中(554人中166人、30.0%)と比較しても高い割合でした。



(3) 出会い頭事故の構成率が高い

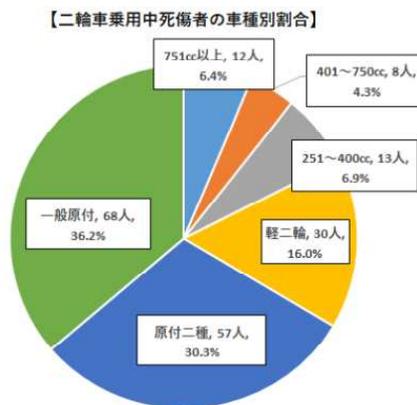
事故類型別では、ほとんどが車両相互事故(206件中197件、95.6%)であり、中でも出会い頭(53件、25.7%)の構成率が高くなりました。

また、右折直進(44件、21.4%)の構成率は、二輪車以外の事故と比較して16.0ポイント上回り、出会い頭とともに、二輪車以外の事故の構成率より高くなりました。



(4) 原付乗車中の死傷者が多い

二輪車乗車中死傷者の車種別では、一般原付自転車(188人中68人、36.2%)で最も多く、次いで、原付二種が57人(30.3%)と、原付乗車中の死傷者が多くなりました。



(5) 20歳代の死傷者が多い

二輪車乗車中の死傷者の年齢別では、20歳代が188人中43人(22.9%)で最も多く、次いで40歳代(34人、18.1%)と多くなりました。

また、高齢者が22人(11.7%)、大学生が21人(11.2%)の割合を占めました。

